

例会報告

9月は「新世代のための月間」です

第2213回例会報告議事録
日時 23年9月6日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト：山田修平ガバナー
森和夫ガバナー補佐
石戸ガバナー補佐幹事
キム・ボヒョンさん(米山奨学生)

会長挨拶

志賀会長



8月30日夜間例会の屋形船は楽しく和やかに過ごさせていただきました。親睦委員の方々をはじめ、皆様に大変お世話になりました。尾上先生に5、6曲、歌を歌っていただき、奥様方にはダンスを踊っていただき、大変よかったです。私はお酒を飲めなかったのが残念でした。今度は体調を整え参加したいと思います。

今日は、ガバナー訪問です。今日一日よろしくお願い致します。

親睦委員会報告

小池親睦委員長



松本会員、お誕生日(9月15日)おめでとうございます。

松本会員より

「ありがとうございます。昭和23年に東京の高円寺で、産婦人科医だった父に取り上げられました。ちょうど台風のさなか、夜中に生まれました。どういうわけか台風が来ると血がたぎります。家族にも、お父さんは台風が来るとなぜか興奮すると言われます。今回、台風の大変な被害が出ましたが、台風に負けずに、諸先輩方のご指導を仰ぎながら頑張ってお参りますので、今後よろしくお願い致します。」

出席報告

松本会員(代理)

22名出席 出席率88.0%

社会奉仕委員会報告 野田社会奉仕委員長



9月27日にレンゲの種まきを行います。
12時にゆうゆう広場で現地集合です。
ぜひご参加の方、よろしくお願い致します。

クラブ管理運営委員会報告 塚田クラブ奉仕委員長



20日の卓話は、中央学院高校のサッカー部の監督の卓話をいただきます。
ぜひ皆様ふるってご参加ください。

会員増強について



小池会員
「来週の例会にゲストとして1名、お食事を一緒にしたいと思いますので、よろしくお願い致します。」い致します。



鈴木会員
「私の推薦した方が来週の理事会で承認をいただき新たに仲間に加わります。なるべく早い時期に入ってくださいますので、どうぞよろしくお願い致します。」

幹事報告

米田幹事



・例会変更、休会のお知らせが柏南RC、柏西RC、柏RCより届いております。事務局の方にお問い合わせください。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
今井会員	欠席していました。	1,000円
尾上会員	夜間例会の写真をいただいて。	1,000円
上村文明会員	写真ありがとう。	1,000円
小池会員	星野会員より写真を頂きました。ありがとうございました。	1,000円
塩毛会員	ガバナー公式訪問。家族の写真をありがとうございました。	1,000円
志賀会長	写真をもらいました。	1,000円
瀧日会員	写真をいただきました。	1,000円
野田会員	夜間例会の写真ありがとうございました。	1,000円
松本会員	写真御礼。誕生祝い御礼。	2,000円
丸田会員	写真ありがとう。	1,000円
米田幹事	屋形船の夜間例会楽しかったです。ありがとうございました。	2,000円
当日計		12,000円
今期累計		50,000円

近況報告

キム・ボヒョンさん（米山奨学生）



屋上庭園の現場調査の写真を何枚か持って参りました。

調査から戻ってから、妻がうつになってしまい、その次に子どもが病気になる、しばらく動けず、データ処理ができなかったのですが、メモした事や気になった写真をお見せしたいと思います。

屋上庭園は都市の緑地の一部として最近扱われ、国の補助金も出るようになってきました。大阪と東京で30件くらい回ってきました。風力発電、壁面緑化等、環境教育施設になっている屋上庭園が5、6年前より増えていました。水の風景がある屋上庭園がかなりありました。東京には神社がある屋上庭園がかなりありました。

改善しなければならないと思ったのは段差でした。スロープがなくて、車いすやベビーカーや高齢者が使いにくい場所が8件もありました。エアコンの外気や騒音も問題になっています。ベンチがあるのに日陰がなく、利用されていない所が60%ありました。

大阪の水遊びができる屋上庭園は子ども達がすごく喜んで遊んでいました。メンバーシップ制で農園を作っている所もあり、その会費で管理費をまかなっている所も何件もありました。建物全体を緑化している所も大阪にありました。外部の階段は山を登る感じになっています。

9月になったら、もう少しおもしろい話を持ってきたいと思います。ありがとうございました。



キム・ボヒョンさんへ米山奨学金を授与

卓話

第2790地区ガバナー 山田修平様



2790地区のガバナー、山田修平でございます。所属は第4分区分木更津東ロータリークラブです。おとし一緒にガバナー補佐をさせていただいた瀧日さんは素晴らしい方で、今年のガバナーは瀧日さんがなるべきでしたので、本年度一年間、瀧日さんの代わりにガバナーをやらせていただいております。どうぞよろしく願い致します。

米山奨学生のキムさん、合格されましたおめでとうございます。米山奨学生の皆さんは大変優秀です。書類選考するのも大変でした。

本年度、地区の方針としまして、「より強力な魅力あるクラブに」と掲げさせていただきました。会員皆さん全員にロータリーに精通してもらいたい。そういうクラブに是非していただきたいと思っています。そのために10項目の重点目標を掲げさせていただきました。会員研修の充実も入っています。

土屋パストガバナーの松戸RCは素晴らしいです。入会3年未満の会員が例会終了後、土屋パストガバナーのビルの会議室に会場を移して、研修会を年間8回行ったそうです。

館山RCに昨年卓話にお邪魔したのですが、私と同じ税理士で宮崎さんという方が「私が入会した頃は例会にはクラブの定款と細則を持ち寄ったものだよ」とおっしゃっていました。クラブ創立間もない頃は、ロータリーとはどういうものかを皆さんで研究し、ロータリーに精通していらっしゃったと思います。ロータリーを楽しもう、というのが最近では娯乐的に楽しむようになり、軌道が曲がっているようなので、私は何とか戻したいと思います。ロータリーがなぜ106年も続いたのか。いろんな哲学を取り入れ、現在まで発展してきたのかなと思います。まず、会員の皆さんがロータリーに精通していただきたいと各クラブをお願いしております。

10項目には入れていませんが、クラブの長期計画を会員全員で立案してくださいと言う事もお願いしています。我孫子クラブさんはCLPを研究されているようで、素晴らしいと思います。CLPで第一番に挙げているのはクラブの長期計画です。クラブが何を目標しているのか。3年後、5年後、うちのクラブはこうなりたい、という継続性を持たせると良いと思います。

強力な魅力あるクラブに欠かせないのは、やはり会員増強だと思います。RIのためではなく、クラブの皆さんのためです。25名のクラブで、素晴らしい事に2、3名の入会見込み者がいらっしゃいます。厳しい予算も、会員が増える事で余裕が出てきます。

国内で一番会員が多いのは東京RCで324名です。第30位は札幌RCで109名です。2790地区で会員が一番多いのは千葉RCで65名です。

私は各クラブに10%の会員増強をお願いしています。こういう経済状況で新入会員なんて無理だという意見もありますが、

我孫子RCクラブ協議会

13:45	会長挨拶 ガバナー挨拶 ガバナー補佐挨拶	司会：我孫子RC幹事 我孫子RC会長 2790地区ガバナー 第10分区ガバナー補佐	米田友義 志賀裕司 山田修平 森 和夫
13:55	クラブ管理運営委員会活動計画	クラブ運営委員長	丸田勝功
14:00	ガバナーからのご意見	2790地区ガバナー	山田修平
14:10	職業奉仕委員会活動計画	職業奉仕委員長	星野 栄
14:15	ガバナーからのご意見	2790地区ガバナー	山田修平
14:25	社会奉仕委員会活動計画	社会奉仕委員長	野田 進
14:30	ガバナーからのご意見	2790地区ガバナー	山田修平
14:40	国際奉仕委員会活動計画	国際奉仕委員長	鈴木公三
14:45	ガバナーからのご意見	2790地区ガバナー	山田修平
14:55	全体意見交換		
15:10	閉会の言葉	我孫子RC会長	志賀裕司
15:15	懇親会（マークワンレストラン）		
15:45	終了		

会長挨拶

志賀会長



今日はガバナー公式訪問ということで、いよいよ第一関門が始まります。山田ガバナー、森ガバナー補佐、石戸ガバナー補佐幹事をお迎えしております。各委員会の委員長の発表の場であります。よろしくご指導ご鞭撻の方お願い致します。

ガバナー挨拶

第2790地区ガバナー 山田修平様



クラブ協議会、楽しみにしております。
「ガバナー公式訪問が終わったので、私の年度はこれでほぼ終わりです」と冗談でおっしゃった会長さんがいらっしゃいましたが、そうではなく、ガバナー公式訪問というのは、クラブに伺って、より素晴らしいクラブになるように応援に駆けつけるものです。

クラブ協議会は、昔は委員長以上の会議と定義されてきました。今は、クラブの活動やプログラムや会員教育のために開かれる全クラブ会員の会合であると要覧に書かれています。全員参加というのは素晴らしい事だと思います。

ガバナー補佐挨拶

第10分区ガバナー補佐 森 和夫様



我孫子ロータリークラブの歴史ある所でガバナー公式訪問でご挨拶をさせていただきますのは本当に恐縮です。本年度の山田ガバナーは会員増強10%を強く願っておりますが、我孫子クラブさんは10%増強できるとの嬉しいお話をいただき、ありがとうございます。来る29日の地区協議会も会員増強をテーマに開催されます。

私は楽しくやりながら成果を上げるというのが目標ですので、楽しい例会作りをしたいと思っております。例会の後は、飲み放題のお酒をご用意致しますので、ぜひ全員の皆様のご参加をお願い致します。



クラブ管理運営委員会は、現在5つの担当で構成されています。親睦担当は小池会員、プログラム担当は塚田会員、出席担当は渡辺会員、職業分類が植崎会員です。先ほど懇談会の時にSAAを組織に入れるのはどうかというご指摘がありましたので、SAAは控えさせていただきます。「より強力な魅力あるクラブに」を実践するにあたり、例会を基本と考え、例会の充実をはかったプログラムを進行計画し、実施検証を繰り返し、会員の満足度を向上させていくことが魅力あるクラブへの一歩だと考えております。

5つの目標をかかげております。

第一に魅力ある例会運営です。志賀年度では夜間例会、家族例会の充実をお願いしておりますので、小池会員の方で、7月の最終例会には家族夜間例会として柏で中華の夕食会を27名で催しました。8月には屋形船で家族例会を開催し、大変楽しい一時を過ごせました。

プログラムとして、塚田会員がどういう卓話にしていったら良いかアンケートを実施しました。年間の卓話スケジュールを決め、外部卓話を含め、計画しております。7月には井上先生にロータリー発足当時のお話をいただき、ありがとうございました。手探りながら、例会運営は会員の皆様から色々評価をいただき、進めていきたいと思っています。

第2には例会マナーの改善です。携帯電話や私語を改善していきたいと思います。私語につきましては、高齢の方が多く小声で話す事がむずかしいので、規制をゆるやかにして楽しい例会に行きたいと思っています。

第3には、各担当委員会との積極的な例会運営に参加することです。職業倫理担当、家庭集会担当、会員研修担当には協力していただき、卓話等で専門の話をさせていただきたいと思います。

第4に外部活動運営委員会との活動をサポートすることです。ファイヤーサイドミーティングや社会奉仕活動のレンゲまつりにも積極的に参加し、我孫子市の広報等で幅広く市民活動に呼びかけていきたいと思っています。

第5に会長から長期計画として我孫子の皆様にロータリークラブを認知していただくために、広報チラシの配布を今年度考えています。我孫子市が応援している活動の団体とのコラボレーション等、より達成度の高い広報にしていきたいと考えております。

会員増強の方は、現在3名入会予定の方がいらっしゃいます。これからも皆様のご協力をお願いしたいと思います。

ガバナーからのご意見 山田ガバナー

SAA (Serjeant-at-Arms) についてお話がありました。規約では会場監督となっています。例会をしきる役です。これはクラブの役員なので、委員会ではないのではとお話させていただきました。

委員会の構成は我孫子クラブさん独自のものとすることで、素晴らしいと思います。もともとクラブの委員会構成はクラブに任されています。ロータリークラブ定款に違反しない限り細則はクラブで決められます。我孫子クラブさんは委員会をよく研究されて、素晴らしいと思いました。

クラブ管理運営委員会は、クラブの内部的な所を担当しています。ロータリーの木で言えば、根っこの部分にあたると思います。

夜間例会、家族例会で会員同士の親睦を深めることは大事に今後もやっていただきたいです。

職業奉仕委員会活動計画

星野職業奉仕委員長



山田ガバナーの方から、ロータリーに精通する事、クラブの長期計画を立てる事、の2点のお話がありました。その通りだと思います。

我孫子クラブの職業委員会は、職業倫理、家庭集会、会員研修(例会スピーチ)で構成されています。元RI会長のお話の中に「奉仕の実践を行わんとする者は、まず自分が利益者でなければならない。自分のために動くのが人間である。」というのがあり、そういう認識に立った奉仕のあり方が職業奉仕であると私はとらえました。

我孫子としては、会員各々が自分の職業の質を高め、道徳の高揚をはかり、これを自分の職業に繁栄させることを基本とし、自分自身の事業に自信と誇りを持って、継続的に事業を繁盛させていく事が大事なのではないかと考えます。

個々の会員の職業奉仕に対する考えや自己研鑽により、職業倫理高揚の啓蒙をする等の勉強会を催して、会員の一層の質の向上を努める事が義務であると私は考えました。

新年度になり2ヶ月達経過しました。

職業奉仕は個人が主体である事から、会員一人一人の事業について、業務内容、自分の仕事に対して自信と誇りを持っているか、どうしたら自分の仕事を社会の中で生かせるかについて、会員一人一人が例会スピーチの中で発表していただきます。

勉強会開催については、当クラブの先輩諸氏、ガバナー、ガバナー補佐、OBの皆様に卓話をお願いして、年に2、3回開催していきたいと思っています。

家庭集会に關しましては、入会された5年未満の方を対象に、今年は10月25日の夜、来年は4月24日の夜に勉強会を開き、先輩諸氏のお話を聞き、ロータリークラブのよさ、楽しさを習得していただきたいと思っています。

最後に、当クラブでは職業奉仕の一環として、新世代の健全な育生に向けた対応として、我孫子東高校の要請に基づきインターシップの受け入れを決定しました。インターシップを通じ、生徒に社会と自己のつながりを意識させ、働く事の喜びや厳しさ、やりがい、達成感、感動等を実際に体験させ、職業人への意識転換のきっかけとします。コミュニケーション能力を高める事も目的としています。11月15～17日の3日間で、対象は我孫子東高校の1年生全員です。我々ロータリークラブは10社程度で協力します。どうぞよろしくお願い致します。

ガバナーからのご意見 山田ガバナー

職業奉仕委員会についてはRIの中で受難の委員会と言いましょか。相当昔はRIに設置されず、7、8年前に設置されましたが、昨年度のRI会長が設置しないという話を理事会でしました。その時に理事だった黒田さんだけがそれに反対し、結局RIに資金的に負担をかけない方法で職業奉仕委員会が設置されました。RIは職業奉仕を軽く見ているようなのですが、日本のロータリアンは大変重きを置いています。

今年は地区に初めて長期計画委員会を設置致しました。ガバナーも入っておりますので、公式訪問が終るまでは委員会の開催はむずかしいのですが、地区の長期計画も立案したいと思っております。

ロータリークラブのよさ、楽しさを研究することは、大変素晴らしいと思います。我孫子ロータリークラブがインターシップに協力している事等、会員の権利義務は平等だということ等、新会員の勧誘の時にもセールスポイントになると思います。

奉仕の他の4つの部門は対外に奉仕する部門ですが、職業奉仕は唯一自分の利益、自分の職業を通じて社会に奉仕する部門です。そういうことで海外では人気がないのかもしれませんが、そういうこともわきままえながら、皆さんで研究していただきたいと思ひます。

社会奉仕委員会活動計画

野田社会奉仕委員長



社会奉仕委員会は環境保全地域開発、奉仕のパートナー、新世代の3つで構成されています。

3月11日に大災害が起き、今までとは違った視点で社会奉仕について考えさせられました。

社会奉仕の委員長会議の中で、「決議23-34」ということで、社会奉仕について「奉仕する者は行動しなければならない」とあります。ロータリーとは単なる心構えではなく、客観的に行動しなければならないということに、まさにそうだなと思いました。

毎年、レンゲまつりを開催させていただいております。利根川のゆうゆう公園に子ども達とレンゲの種をまきます。4月から5月に蒔いたレンゲが咲いた中で、親子ふれあいということで、手作り凧をあげます。家族、親子で自然に触れ合うことが目標です。奉仕のパートナーとして、我孫子の公園緑地化とタイアップしています。我孫子広報にも掲載されます。新世代ということで、親子のふれあい、自然の中で子ども達が遊ぶ事を大事にして、本年度も開催したいと思ひます。

長期計画としては、まだこれだ、という所はつかんでおりませんが、我がクラブも46年で、50周年に向けて、原案作りを考えていきたいと思ひます。ガバナーの方でお知恵がありましたら、色々ご意見を聞かせていただければ幸いです。

ガバナーからのご意見 山田ガバナー

レンゲまつり、大変素晴らしい事業だと思います。子ども達と種をまいて、レンゲが咲く頃には、レンゲを見るだけでなく、親子で凧揚げ大会をやったり、これも我孫子クラブさんの大きな売り物のひとつになるのではないのでしょうか。大いにPRしてほしいと思ひます。手作りの竹とんぼも、ぜひとも頑張ってくださいと思います。

「30周年を30人の会員で祝おう」というのがありましたが、「50周年を50人の会員で祝おう」なんていうキャッチフレーズはいかがでしょう。皆さんがその気になればきっと出来るのではないのでしょうか。

決議23の34のお話が出ました。大変素晴らしいことだと思います。これも、ロータリー抄典から削除されたり、受難な決議です。これも日本のRIの理事が非常に頑張って、全文載りました。RIの



8月末に国際奉仕委員会セミナーがあり、こんな言葉に出会いました。今年にはWCS（世界社会奉仕）がなくなって、何をすればいいのか戸惑っていらっしゃると思いますと司会の方等から伺った時に、私はいささかの戸惑いも感じませんでした。私たちのクラブは先達の方々が、何十年も前から世界社会奉仕の汗を流しながら歩いて来られたことを私は知っているからだと思います。

私は11年前に入会させていただいて、翌年に井上先生に誘われてスリランカに行き参りました。当時、貧困や飢餓のために命を失っている数えきれない小さな命、学習機会が与えられない為にいつまでも生活環境が整わない、劣悪なままにおかれている国の子ども達でした。スリランカのお坊様と井上先生がお知り合いになった事がきっかけになったということですが、同額補助金マッチンググラントという人道的プロジェクトの中心となってこられた井上先生方や当クラブ先輩方の協力であそこまで来たのかなと思います。

私も幼児教育で幼稚園をやっていますが、スリランカの学校のPTAのお母さん方がカレーを笑顔で作っている光景を見た時に、さまざまな思いが交錯した事を覚えています。

歓迎会で子ども達が寸劇や歌を舞台の上でやってくれました。子ども達の立ち振る舞いに感動した事もよく覚えています。にこやかな笑顔と、私たちが劇が見えにくくならないように、前を通る時に腰をかかめて頭を低くして通る姿を見て、なぜこんなに子ども達はこれだけの気配りができるんだろうと思いました。国が貧しいから富んでるからに関係なく、むしろ貧しい国の子ども達の目の輝きと人に対する配慮をかいま見た思いがしました。

もう1点は、ライ病患者救済の為に、フィリピンの病める人々のために長きに渡り医療活動された星野邦夫元会員。それはWCSの最も根源的なお働きだったのではないかと思います。

我孫子クラブの伝統の潮流を淀ませる事なく、国際奉仕委員会のバックボーンにしていきたいと思っています。

姉妹クラブに関しては、今年、台湾の豊原RCの50周年記念式典へ参加しました。ハワイのアラモアナRCは来年40周年を迎えます。この交流は時に熱く、時に静かに流れてきました。国は違えども、ロータリアンとしての理想に根ざした交流でした。異文化の学び、文化の違いの中での価値観や世界観を知る事は、人としての成長に少なからぬ恵みをもたらしました。姉妹クラブの友情は海を越えて存続すべき大切な宝物であると確信しています。

心の中を見つめる、その中で何か奉仕に向かわせる何かが醸成される一年であり続けたいと思っています。具体的に何が出来るか今申し上げられませんが、自分の、また周りの方々の心の中を見つめながら、我孫子クラブの同胞のみんなと、何かに向かわせるスイッチがどこかについて、先達がやってこられた尊いお働きを越える事は出来ないかもしれませんが、私たちにできることがきっと見つかるだろうと思います。曖昧な話ですが、そんなことを期待しながらお話させていただきました。

ガバナーからのご意見 山田ガバナー

過去において、スリランカ等で大変すばらしい活動をなさっておられたことを伺いました。

WCSの話がございましたが、地区としては各クラブの皆さんからいただいたお金でカンボジアやフィリピンのクラブを支援してくるというものでした。地区としてやることなのかということで検討事項だったのですが、RIの正式のプログラムとしては外すという話が飛び込んできました。RIにはものすごい数の事業がありますが、経費を掛けた割には事業としては大きくないために廃止したのでは?という話もございます。クラブ対クラブでWCSを実施しているクラブもございます。

我孫子クラブさんはピーク時には60名位おられたと聞きます。今ではスリランカの事業はなさっていないようですが、ここでも会員減少が影響しているのかなと思います。

国際奉仕委員会の小委員会として、米山奨学生、あるいはロータリー財団がございます。活動計画書の15ページには特別寄付をいただいた方々のお名前と金額が掲載されています。ご協力いただき、本当にありがとうございます。本年度、米山奨学生のキムさんを受け入れていただき、大変ありがとうございます。

米山記念奨学会ですが、平山パストガバナーが常務理事をやっておられます。先月末の評議委員会でもなんと副理事長に選ばれたそうです。もう一人の副理事長はRIの唯一の日本人理事の近藤さんです。2790地区にとりまして大変名誉なことです。名誉を祝しまして、またご寄付をいただければと思います。

米山の寄付につきましては、2790地区は会員一人あたり1万5千を目標として、なかなかそこまで届かなかったのですが、今年6月30日に締めた昨年度の寄付が一人あたり1万5千何十銭となりました。板橋理事長に成り代わりまして御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

全体意見交換

Q. 小池会員より質問

長期計画で何か他の例を教えてください。

A. 山田ガバナーのお答え

成田空港南RCは大変素晴らしい長期計画を作っておられます。成田RCは2790地区におけるCLPの発祥の地とも言える素晴らしいCLPをやっておられます。委員会構成が素晴らしいと言う事ではなく、きちんとした理論に基づいたCLPということです。成田空港南RCは活動計画書に8ページ位で長期目標を載せています。が、その活動計画書を見るより、皆さんで話し合っ、ゼロからCLPを研究して作っていただけたらと思います。そうする中で、皆さんがロータリーに精通するのではと思います。

Q. 瀧日会員より質問

RIと我々の考え方が乖離しているようで、ロータリー財団等についても皆さん少しためらいがあるように思います。世界一のNGOになるとか、よく言われるI serve. We serve.ですとか、職業奉仕についての考え方の違い等あると思います。現在のRIはどんな理念で、どんな方向に進みつつあるのかお話いただければ幸いです。

A. 山田ガバナーのお答え

大変難しい質問でございます。本来ならば、私が質問する立場で、瀧日さんがガバナーの立場でしたら、明快に答えが出ると思うのですが(笑)。

昨年11月のゾーン研究会で「ロータリークラブとライオンズクラブが合併するそうですが、I serveも we serveも両方近づいているのですか」と質問されました。事務総長のエドフタさんはきっぱり「そんなことはありません」と言いました。

誰かが何か言うと、噂というのは、あたかも真実のようにすぐ伝わります。「ロータリーの友」にそんなことは載っていません。惑わされないようにしていただきたいです。

最近のRIの方針はおかしい、急に5大方針になってきたとか、一業種1人だったのが一業種5人になってきたとかありますが、これはRIの理事会ではなく規定審議会の議決事項なのです。規定審議会は2790地区からも1人出ています。

ロータリーの話をするのは非常に楽しいです。一年間、ガバナーとして大いにロータリーを楽しんで行きます。ありがとうございました。

閉会の挨拶

志賀会長



皆様方、お疲れ様でございました。山田ガバナー、森ガバナー補佐、石戸ガバナー補佐幹事、本当にありがとうございました。発表していただいた、丸田会員、星野会員、野田会員、鈴木会員も本当にご苦勞様でございました。

これを機に、私も楽しいかなという感じが持ててきました。ご苦勞様でした。

ロータリーの友 事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。